

施工前の注意事項

- ・施工前に安全上の注意をよくお読みのうえ、正しく取付けてください。
- ・注意事項は安全に関する重要な内容が記載されていますので、必ず守ってください。
- ・施工後は正常に動作することを確認してください。



……「注意」この指示を無視して誤った取扱をすると、障害または、物的損害が発生する可能性があります。



……このマークは、「接触禁止」の内容です。



……このマークは、してはいけない「禁止」の内容です。



……このマークは、必ず実行していただく「強制」の内容です。

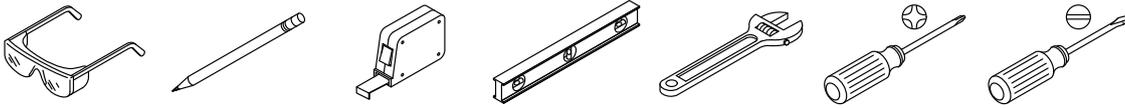


……このマークは、「分解禁止」の内容です。

⚠ 取付に関する注意			
	本製品の取り付けは、必ず有資格の専門業者に依頼してください。誤った施工は、落下や漏水の原因になります。		地震などでバーやハンドシャワーが緩んでいないか、定期的にガタつきや緩みを点検し、異常がある場合はご使用を中止して施工業者に点検を依頼してください。
	施工後は、各固定金具が確実に締め付けられていること、スライド機構がスムーズに動作すること、給水接続部からの漏水がないことを必ず確認してください。		給水一体型ブラケットには、指定された給水配管のみを接続してください。改造や他社部品の流用は行わないでください。水漏れや性能低下の原因となります。

⚠ 使用に関する注意			
	高温のお湯を使用する場合は、別途接続される混合水栓・サーモスタットの取扱説明書に従い、やけどをしない温度に設定してください。特に高齢者やお子様を使用する際は、必ず保護者が確認してください。		シンナー・塗料・強酸／強アルカリの薬品などを長時間ためたり放置したりしないでください。表面仕上げの劣化や変色の原因となります。
	清掃の際は、バーに脚立を立てかける、もしくはバーをつかんだ状態で無理な姿勢をとらないでください。転倒などによるけがの恐れがあります。		手すり代わりに使用したり、体重をかけたり、ぶら下がったりしないでください。器具の破損・落下による思わぬけがの原因となります。

必要工具および現場手配品



<p>⚠ 警告: 人的傷害または物的損害の危険があります。 やけどの危険があります。水温が高いと重度のやけどを引き起こす可能性があります。バルブの水温は49℃以下に設定してください。</p> <p>バルブの温度調整手順を参照してください。</p> <p>地域の配管および建築の規則をすべて遵守してください。</p>	<p>1 給水穴の確認 給水穴14 mm、穴位置の最小寸法は1219mmです。</p>	<p>2 ニップルの取付 モンキーレンチを使用してパイプニップルをしっかりと締めます。両端のねじ山にシーラントテープを貼ってください。</p>	<p>3 アダプタの取付 アダプタを壁の内側に6~16 mmねじ込みます。</p>	<p>4 スライドバーの組立て ハンドルを下に下げてベースをスライドバーに固定してください。</p>
<p>5 墨出し スライドバーの設置位置の墨出しをしてください。</p>	<p>6 下穴の加工 墨出し位置に、下穴を開けてください。 スタッドの取り付けには、約3.2mmの穴を開けます。乾式壁の取り付けには、約8mmの穴を開けます。</p>	<p>7 アンカーの取付 スタッド間の取り付け: 付属のピンを使用して乾式壁アンカーを取り付けます。 コンクリートまたはタイルへの取り付け: セラミックアンカーを取り付けます。</p>	<p>8 ベースの取付 シールの内側に沿って100%シリコンシーラントを塗布します。その後壁面に取付けてください。</p>	
<p>9 スライドバーの取付 両方の止めネジをスライドバーに緩くねじ込みます。</p>		<p>スライドバー本体を壁面に取付けてください。</p> <p>両方の止めネジを慎重に締めてください。取付後、キャップを取付けてください。</p> <p>※止めネジを締めすぎないでください。</p>		<p>10 洗管 水を流してゴミを洗い流します。</p>
<p>11 カバーの取付 設置後上下にカバーを取付けてください。</p>				